

地域ケア会議×協議体

にしなすケアネット



取組をはじめたきっかけは何ですか？

平成27年の介護保険法改正以降、在宅での生活を望む人が自立した生活を続けられるように地域ぐるみで支える「地域包括ケアシステム」を推進するため、それぞれの地域に「地域ケア会議」と「協議体」を設置するという話があり、地域包括支援センターと社会福祉協議会は、地域課題を把握し、どうアプローチしていくのかを話し合った際、地域のことは地域住民が一番よく分かっている（地域住民は地域の専門家である）という考えのもと、地域住民を中心に一緒に考える会を企画したいと考え、平成29年8月から「地域ケア会議」と「協議体」を一緒にした『にしなすケアネット』を立ち上げました。

どんな取組を行っていますか？

にしなすケアネットは、個別事例から地域課題を把握するための議論や勉強会を行う地域包括支援センターが実施する「地域ケア会議」と、住民が主体となり地域課題から具体的な活動を立ち上げるための社会福祉協議会が推進する「協議体」を一体的に行っているのが特徴で、地域共生社会の実現を目指し、「我が事、丸ごと」で様々な分野や立場の人達が地域課題について話し合い、実践に向けた検討会や勉強会を行っています。

企画運営委員会は、地域包括支援センター、社会福祉協議会、市役所高齢福祉課、社会福祉課など行政以外に、自治会長連合会会長、大学病院副委員長、地域医療連携室、地域福祉学の大学准教授など、多様な立場で構成されており、開催のテーマや方法などを一緒に考えています。

平成29年8月から今まで、29回開催していますが、テーマは、高齢者・障がい者・子ども・空き家・ひきこもり・ヤングケアラーなど分野は様々で、毎回参加者へのアンケートで話し合いたいテーマを募集し、今、地域で課題になっているものや、すぐに検討すべき課題は優先的に取り入れ、また、出来るだけ当事者の方に参加いただき、想いを直接お伺い出来るようにしています。

課題が明らかになった後は、「あったらいいな」ということを、興味関心を持った住民、市民団体、事業所などが、地域包括支援センターや社会福祉協議会などと「一緒にやってみる」という事で、協議体の活動がスタートします。

取組を行う際のポイント

どの分野においても、必ず当事者の話を直接聞き、また、住民の皆さんがどう見ているか、住民目線も大事にし、みんなで活動することを大事にしています。会議の中で、みんなで当事者の話を聴く事で共感し、一体感が生まれ、みんなでやろうという士気も高まります。

その勢いで検討会が立ち上がっているのです、決して何かを仕掛けていくわけではなく、それぞれの立場で各々の強みを生かして動いてくださり、自然とみんなで作り上げているという形が生まれています。

また、これまでの取り組み(第20回まで)についてまとめたものを冊子にし、民生委員・児童委員や各事業所へ配布したり、「にしなすケアネット通信」を作成し、実際に会に参加出来なかった方へも周知できるよう、回覧板でも回しています。個別のケースや地域で何か問題があっても、情報を共有出来ているので、色々な面でメリットを感じています。



これからの活動について

「地域包括システムを頑張って創っても、ここに住む人がいなければ意味がない」という事で、街づくり的な話し合いもしています。交通問題、農業と福祉の連携など、やってみないとわからないことも多いので、検討会を作り、皆さんと考えていきたいと思っています。

他にも課題はたくさんありますが、にしなすケアネットは、縦割りではない分、伸びしろがあり、やれない理由を言う人もいないので、これからも当事者の声に耳を傾け、住民目線で課題を考え、官民連携で活動していきたいと思っています。

地域ケア会議×協議体

- ◆実施日 2か月に1回(奇数月)第4木曜日
13:30~90分または120分
※テーマや参加者層によって変更あり
 - ◆開催場所 国際医療福祉大学病院 講堂
オンライン開催
 - ◆活動成果
 - ・認知症当事者の会
「オレンジドアにしなす」
 - ・ひきこもり・不登校支援の会相談会
「あおぞらのいす」
 - ・子どもの居場所 「こども“夢”くらぶ」
 - ・交通問題を考える会
 - ・ヤングケアラー協議会 の発足
- 勉強会・講演会(住民、企業、行政と協働)
- ・認知症VR体験会
 - ・SDGs勉強会
 - ・ひきこもり支援勉強会

”地域ケア会議×協議体”という強みを生かして、住民とともに地域共生社会の実現を目指します。



人に幸せをもたらすはずの経済活動という大きな歯車が現代社会において貧困を生み、格差を拡大させています。そして、コロナ禍により人と人とのつながりが希薄となり、一層顕在化しています。

また、超高齢社会の進行は、社会全体で取り組むべき大きな課題となっており、私たちは住民と共に、社会保障制度の狭間で声を上げることができない人の心の声を聞き、誰一人取り残さない地域社会をつくることを目標に活動を続けてまいります。

にしなすケアネット企画運営委員会

団体概要

団体名 | にしなすケアネット企画運営委員会

所在地 | 那須塩原市井口533-20
地域包括支援センターとちのみ(事務局)

事業内容 | 地域ケア会議と協議体の企画運営



Facebook

評価のポイント

介護保険法における事業のひとつではあるが、分野を問わず、既存の制度や地域内の活動を把握し、その課題や当事者の声に対して官民が連携して取り組み、その成果として、近年社会問題となっているヤングケアラー協議会をはじめ、地域社会のニーズ等に応じた複数の活動の発展につながっていることが特に評価されました。